第2回策定委員会 議事要旨

| 主な意見 | 対応の方向性(事務局回答等) |
|---|--|
| 都市計画制度及び関連事業について | |
| ・各地区にある公園は、他の用途に変更は可能か。 | ・市で管理する公園については、法に基づき設置されているため、用途変更は難しい。 ・不足している緑地・公園については、担当部署が確保に向け取り組みを行っている。 |
| ・市のこれまでの計画は、実現化方策が弱かったと認識している。実現化に向けては、行政がオピニオンリーダーとして、地域へ働きかけを行っていただきたい。 | ・計画の実現に向けて、官と民双方の適切な役割分担の下、連携して取り組む必要があると認識しており、今後も地域と連携を図りながら実現化方策を検討出来ればと考えている。 |
| ・都市計画マスタープランが市の方向性や今後のまちづくりを規定することは理解した。ただし、都市計画マスタープラン策定の影響を受け、駅周辺整備の手続きが遅延する理由を説明していただきたい。 ・駅周辺整備は、地域住民の関心が高いものであることから、十分な説明を行っていただきたい。 | ・駅周辺地区は、風致地区や農業振興地域が指定されている。今回、駅周辺整備に合わせてこれらの指定の見直しや用途地域の指定等を検討しており、関係機関と協議を行っている。 ・関係機関との協議の中で、駅周辺整備の内容を都市計画マスタープランに位置づけることが求められており、駅周辺整備にかかるスケジュールの見直しを行った。 |
| 上野原市の特性と課題について | |
| ・市の将来を見据えた検討をするため、将来人 口(推計)も提示いただきたい。 | ・第3回委員会にて提示する。 |
| ・全国的な人口減少の中で、川崎市では人口が増えている。それは、子育て世代への施策を展開したためと言われている。本市も人口減少に向けた取り組みを展開すべきである。 ・子育て世代の増加だけでなく、生産人口の流出を防ぐ施策も必要である。 | ・まちづくりの課題の1つである「 少子化や 高齢化社会への対応」を踏まえ、第3回委員 会にて、全体構想における目標や将来都市構 造、分野別まちづくりの基本方針を提案する。 |
| 全体構想の考え方(全体構想の骨子)について | |
| ・本市周辺には、道の駅が無いことから、レクリエーションの核として整備してはどうか。 ・例えば、消防本部の移転が予定されている松留の河川敷などが適地であると考える。 | ・まちづくりの課題の1つである「 地域資源 等を生かしたまちづくりへの対応」を踏まえ、第3回委員会にて、レクリエーション拠点等 を位置づけた全体構想における将来都市構造、分野別まちづくりの基本方針を提案する。 |
| ・市が保有する施設を「税収に結びつく施設」 「地域の行事を行う施設」、「地域住民に利用 される施設」といった整理を行い、具体的な 目標を定め施策を検討いただきたい。 ・コスト縮減・最適化を考慮したまちづくりの推 進が必要である。統廃合した校舎やグランドの 跡地利用を進め、生産性(税収)のある施設と してほしい。 ・例えば、不足しているスポーツレクリエーショ | ・まちづくりの課題の1つである「都市経営コストの最適化への対応」を踏まえ、第3回委員会にて、市有施設の位置づけ等を行った全体構想における将来都市構造、分野別まちづくりの基本方針を提案する。 |
| ン施設として、活用することが想定できる。 | |
| その他 委員会の進め方等について | |
| ・都市計画マスタープラン策定について、地域の 関心を喚起するため、各委員は、地区の方へ本 委員会の検討状況等を周知していただきたい。 ・地区の方からの意見を本委員会で発言いただく など、地域を巻き込んだ活動としてほしい。 | (意見として扱う。) |